



太宰府中学校 1 学年通信  
文責 梅野 真愛  
2019年10月7日

## 中学校の「通知表」のみかた



明日の前期終業式では、中学校初の通知表を受け取ります。「中学校の通知表はどんな内容なのかな」と気になっていると思います。中学校の通知表には次のことが書かれています。

- ① 学習成績 1～5の数値で表される「5段階評価」です。さらに、5段階評価の中身が詳しく分析され、A～Cの記号で表された「観点別評価」というものがあります。
- ② 学校生活 委員会・行事でのリーダー・部活動・行動の記録・出席日数などが書かれています。行動の記録では、特に優れている項目に○をつけています。
- ③ 総合所見 前期のあなたの学校生活のようすを書いています。あなたの良さや持ち味、頑張ったこと、伸ばして欲しいことなどを書いています。

ほとんどは小学校と同じだと思いますが、①の学習成績だけは大きく変わると思います。このことについて、お話ししたいと思います。

### ★教科の評定について

- 評定は、1～5の数値で表します。
  - 5：十分達成されていると判断されるもののうち、特に高い程度のもの
  - 4：十分達成されていると判断されるもの
  - 3：おおむね達成されていると判断されるもの
  - 2：努力を要すると判断されるもの
  - 1：いっそう努力を要すると判断されるもの
- それぞれの教科で、皆さんが学んだことをどのくらい達成（理解したり、技能を身につけたりすること）しているかが評価されます。  
評価される内容は、定期考査の結果や、ノートやワークの取り組み方、作品の完成度、運動能力の高さなどを総合的に評価しています。

### ★教科の観点別評価について

- 観点別評価とは、各教科の「ねらい」を達成しているかどうかを、A～Cの観点で評価したものです。（4観点、国語は5観点）  
A：十分に満足    B：おおむね満足    C：努力を要する

## 太宰府中学校の通知表(実際のサイズはA3です)

記載されている評定や所見は、あくまで例です。ご了承ください。

通知表を受け取ったときに、友達と見比べて、勝った、負けたと言う人がいます。確かに5は「相当努力した結果」で、1は「努力を必要とする」ことです。しかし、「5や1はその人すべてを表す数値ではない」のです。この数値を自分や友達の人格を決める偏見（かたよった見方）の材料にしたり、会話に出して相手や自分を比較したりするのは絶対に許されないことです。

まず、自分自身で前期を振り返り、「頑張った！成長した！」と自分で自分をほめることができる所をみつけてください。そして、自分の反省を行いましょ。大切なことは、他人と比べて優れているか、劣っているかではありません。「弱い自分に負けないこと」です。前期の中で、「もっと頑張れた、学習方法を変えなければならない」といった点を見つけ、改めて後期の目標や課題改善のための方法を考えましょ。また、総合所見欄には担任の先生からのメッセージが記載されています。よく読み、後期からの学校生活につなげましょ。中学校1年生、まだまだ「伸びしろ」ばかりです。更なる飛躍を期待しています。